

平成21年8月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年12月29日

上場会社名 株式会社 ヒマラヤ
 コード番号 7514 URL <http://www.himaraya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小森 裕作
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 谷口 光春
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月13日

上場取引所 東 名

TEL 058-271-6622

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	9,464	—	△620	—	△613	—	△282	—
20年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	△23.54	—	—	—
20年8月期第1四半期	—	—	—	—

(注)当社の連結子会社であった株式会社eSPORTSは、平成20年8月31日に主な事業を譲渡し、同年9月1日付で社名を株式会社モトスと改め、現在清算手続中であり、よって連結の重要性が有る対象先がなくなることから、当事業年度より連結財務諸表は作成しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年8月期第1四半期	29,778	8,925	8,925	30.0	744.73			
20年8月期	25,007	9,342	9,342	37.4	779.48			

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 8,925百万円 20年8月期 9,342百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期累計期間	23,100	10.2	861	△37.9	830	△38.7	449	△35.6	37.46	
通期	46,200	10.4	1,600	△13.3	1,550	△15.1	809	28.8	67.50	

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第1四半期	12,320,787株	20年8月期	12,320,787株
② 期末自己株式数	21年8月期第1四半期	335,599株	20年8月期	335,574株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年8月期第1四半期	11,985,180株	20年8月期第1四半期	11,985,263株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

3. 当社の連結子会社であった株式会社eSPORTSは、平成20年8月31日に主な事業を譲渡し、同年9月1日付で社名を株式会社モトスと改め、現在清算手続中であり、よって連結の重要性が有る対象先がなくなることから、当事業年度より連結財務諸表は作成しておりません。したがって「参考資料」は省略しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間(平成20年9月1日～平成20年11月30日)におけるわが国経済は、世界的な金融危機と世界経済の一段の減速から下押し圧力が急速に高まり景気は弱まって、雇用の過剰感や個人収入の減少への懸念から高額商品の購買にブレーキがかかっています。また、先行きは、原油価格の下落による一定の効果が期待されるものの、世界景気の一層の下振れ懸念などから雇用情勢などを含めた景気の状態がさらに厳しくなりそうです。

そのなかで、当社は事業拡大のため9月にピエリ守山店(滋賀県守山市)、広島商工センター店(広島県広島市)、今治店(愛媛県今治市)、10月に霧島隼人店(鹿児島県霧島市)、11月に福知山店(京都府福知山市)、飯塚店(福岡県飯塚市)、ユニクス上里店(埼玉県児玉郡上里町)、モラージュ菖蒲店(埼玉県南埼玉郡菖蒲町)と8店舗を出店、10月に八幡西店(福岡県北九州市)を増床しました。一方、10月に本庄店(埼玉県本庄市)を退店しました。その結果、平成20年11月末時点で全国86店舗、売場面積は186,784㎡となり前期末に比べて20,725㎡(12.5%)増加しました。

売上では9月以降ゴルフクラブやゴルフ用品が振るわず、既存店売上高が前年同期比98.7%に止まりましたが、全店では新店の効果により同期比111.0%と増収となりました。しかしながら、利益では、新規出店とリース活用方針の変更などで設備費が増加するなど経費が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期会計期間は売上高94億64百万円、営業損失6億20百万円、経常損失6億13百万円、四半期純損失2億82百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ、4,770百万円増加し29,778百万円となりました。

この主な要因は、新規出店による商品、有形固定資産、長期貸付金の増加によるものであります。

負債は、主に秋・冬物商品に係る仕入債務の増加により5,187百万円増加し20,852百万円となりました。

純資産は主に利益剰余金の減少により、416百万円減少し8,925百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ323百万円増加し、3,073百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は413百万円となりました。これは主に税引前四半期純損失、法人税等の支払による支出および売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は831百万円となりました。これは主に関係会社の整理に伴う貸付けによる支出、敷金及び保証金の差入による支出および有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は1,568百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入および短期借入金の増加によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績につきましてはほぼ計画通りに推移したものの、今後は景況感の悪化に伴い小売業を取り巻く環境は厳しくなるものと思われま。但し、現在のところ売上高、営業利益、経常利益、当期純利益等の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成20年9月30日に公表しました業績予想と変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理および四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前事業年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに著しい変化による影響を加味したものを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,173,572	2,850,489
売掛金	1,169,537	743,728
商品	12,492,590	9,404,947
前払費用	401,409	357,134
繰延税金資産	495,130	236,534
その他	272,922	163,166
流動資産合計	18,005,163	13,755,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,245,307	3,964,165
土地	1,299,528	1,299,528
建設仮勘定	1,428	77,866
その他(純額)	322,812	141,260
有形固定資産合計	5,869,077	5,482,821
無形固定資産		
ソフトウェア	12,726	11,128
その他	70,982	71,037
無形固定資産合計	83,709	82,165
投資その他の資産		
投資有価証券	599,414	704,401
関係会社株式	20,000	20,000
関係会社の整理に伴う貸付金	※1 400,000	—
長期貸付金	827,012	541,132
差入保証金	3,192,567	3,069,097
店舗賃借仮勘定	109,618	526,133
長期前払費用	412,219	365,173
繰延税金資産	243,101	105,515
その他	380,003	368,567
貸倒引当金	△363,425	△13,425
投資その他の資産合計	5,820,512	5,686,596
固定資産合計	11,773,298	11,251,584
資産合計	29,778,462	25,007,583

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,565,868	5,632,396
短期借入金	1,000,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,700,000	2,500,000
未払法人税等	23,982	497,211
賞与引当金	502,861	339,004
役員賞与引当金	—	6,058
関係会社整理損失引当金	—	350,000
その他	1,153,082	874,632
流動負債合計	14,945,795	10,599,302
固定負債		
長期借入金	5,555,000	4,715,000
役員退職慰労引当金	168,180	162,998
その他	183,812	188,026
固定負債合計	5,906,993	5,066,024
負債合計	20,852,788	15,665,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544,409	2,544,409
資本剰余金	3,998,158	3,998,161
利益剰余金	2,618,678	2,972,760
自己株式	△188,166	△188,158
株主資本合計	8,973,079	9,327,173
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△47,371	15,105
繰延ヘッジ損益	△34	△21
評価・換算差額等合計	△47,405	15,083
純資産合計	8,925,674	9,342,256
負債純資産合計	29,778,462	25,007,583

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
売上高	9,464,578
売上原価	6,050,864
売上総利益	3,413,714
販売費及び一般管理費	4,034,143
営業損失(△)	△620,428
営業外収益	
受取利息	6,560
受取賃貸料	96,518
為替差益	1,104
その他	20,861
営業外収益合計	125,045
営業外費用	
支払利息	32,604
不動産賃貸費用	84,517
その他	1,317
営業外費用合計	118,439
経常損失(△)	△613,822
特別損失	
固定資産除却損	199
店舗閉鎖損失	11,409
特別損失合計	11,608
税引前四半期純損失(△)	△625,431
法人税、住民税及び事業税	10,403
法人税等調整額	△353,664
法人税等合計	△343,260
四半期純損失(△)	△282,170

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△625,431
減価償却費	112,239
賞与引当金の増減額(△は減少)	157,799
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,182
貸倒引当金の増減額(△は減少)	350,000
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△350,000
受取利息及び受取配当金	△6,616
支払利息	32,604
固定資産除却損	199
店舗閉鎖損失	11,409
売上債権の増減額(△は増加)	△426,527
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,092,256
仕入債務の増減額(△は減少)	3,941,312
未払消費税等の増減額(△は減少)	△205,492
その他	186,064
小計	90,487
利息及び配当金の受取額	645
利息の支払額	△43,993
法人税等の支払額	△460,944
営業活動によるキャッシュ・フロー	△413,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△274,548
敷金及び保証金の差入による支出	△296,196
敷金及び保証金の回収による収入	158,480
関係会社の整理に伴う貸付けによる支出	△400,000
その他	△18,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	△831,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000
長期借入れによる収入	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△860,000
配当金の支払額	△71,911
その他	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,568,077
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	323,083
現金及び現金同等物の期首残高	2,750,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,073,221

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 貸借対照表関係の注記

※1. 関係会社の整理に伴う貸付金

現在清算手続中の子会社である株式会社モトスに対する貸付金であります。